



No.121 2013. 3

発行 真言宗 豊山派
北田山 宝泉寺
所沢市北岩岡 130
編集 色摩真了
ホームページアドレス
takaranoizumi.com

護摩法要

日時：3月21日（木） 午前11時開始

会場：宝泉寺大師堂

皆様の願文が書かれた護摩木をお焚き上げします(1本 300円)。

護摩木は17日のお彼岸入りの日から21日の10時30分までお受けしますので、大師堂の休憩スペースにて願文をご記入ください。

僧侶が燃えさかる火炎の前で真言を唱え、印を結び、様々な供物を火中投げ入れている姿をご覧になったことはないでしょうか。この修法を「護摩（ごま）」と言います。

護摩はサンスクリット語のホーマ（homa「注ぐ」、「投げ入れる」、「供える」の意味）に護摩という漢字をあてたもので、仏教以前からインドに伝わる火の儀式です。これが仏教に取り入れられ、日本では真言宗や天台宗に受け継がれて今日に至ります。

真言宗の護摩は、私たちの願いを上昇する炎に乗せて仏さまに届けるという祈願の趣旨に加え、燃えさかる火炎を大日如来の智慧の炎と捉え、煩惱の薪をその智火で焼き尽くす、最高の悟りを成就するための妙法であるとされています。

宝泉寺では、少なくとも180年ぶりに復活する護摩法要となります。参列される方はどうぞ宝泉寺大師堂に直接お集まりください。

※なぜ3月21日におつとめするかについては次のページをご覧ください。

3月21日はお大師さまの命日

宝泉寺で180年ぶりに復活する護摩法要。その記念すべき日を3月21日に定めたのには理由があります。この日は真言宗の開祖である弘法大師空海のご入定された日、つまり命日にあたるのです。

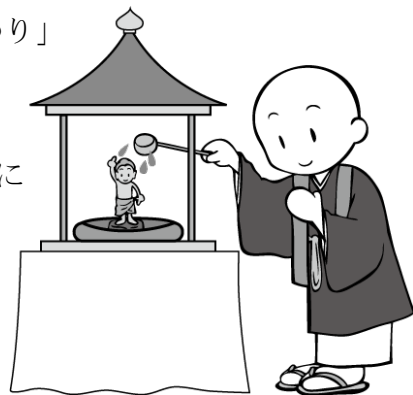
去る3月5日。奈良県橿原市の久米寺というお寺で「御影供法要」をおつとめしてきました。御影供(みえく)とは、神仏や祖師の肖像を前に、その対象を供養することを言い、真言宗では、3月21日の前後にお大師様の肖像をかざり、その遺徳を偲ぶことが古くから行われてきました。

久米寺は、お大師様が、『大日経』というとても大切な密教経典を発見された、真言宗全体の中でも特に重要なお寺です。お大師さまはこの経典と出会ったことで密教を修める決心をしました。

宝泉寺大師堂で3月21日に行われる護摩は、厳密には御影供ではありませんが、皆さんと一緒に改めてお大師さんに思いを馳せる日にしたいと思います。

☆花まつり☆

今年もお釈迦さまのお誕生日会である「花まつり」を行います。期間は4月6～8日(但し、7日は12時から)期間中は本堂を開放し、甘茶やお菓子でお接待いたします。また、本堂開放中は皆さんにいつでも腕輪念珠を作って頂けるよう準備をしています。特に申し込みは必要ございませんのでお気軽に足をお運びください。



日時：4月6日(土)7日(日)8日(月)10時～16時

※7日は12時から本堂を開放します。

会場：宝泉寺本堂

備考：腕輪念珠は何個作っていただいても結構です。材料費と開眼のお布施としてお一人につき500円を頂戴いたします。

宝泉寺では、 毎月各2回ずつ「写経」と「ご詠歌」の会を開

いています。もちろん、それぞれの上達も一つの目的ではありますが、何よりも仏教を通じて、参加者同士で語り合い、楽しく時間を過ごしてもらいたいというのが会の主旨です。

春は新しいスタートの季節でもあります。お檀家の方に限らず何か新しいことを始めたいと考えている方、絶好の機会です。どうぞお気軽に宝泉寺へ足をお運び下さい。

写経の会

日時：毎月第2・4月曜日
午前10時から12時

会場：宝泉寺「るり洞」

会費：一回500円

※写経用紙等はこちらでご用意いたします。

ご詠歌の会

日時：毎月第1・3土曜日
午後2時より4時ぐらいまで

会場：宝泉寺「るり洞」

会費：一回500円

※花まつりの期間である6日の午後2時より、現在のご詠歌を学んでいるメンバーで「花まつり和讃」をお唱えします。興味のある方、ご自由にご見学下さい。

春です。新しいこと始めませんか。

納骨堂利用について

寶泉寺旧本堂改築の折に納骨堂を設けました。この20年、30年を振り返りますと、お寺という小さな組織にいてさえ社会の変わりようの大きさを感じます。とくにお寺という伝統や習俗、習慣によることが多く、ことさらに変貌の大きさを感じるのかもしれない。

納骨堂はこのような変化に対応できるようにと設けられたもので、納骨堂の利用についてはどうぞ寶泉寺までお問い合わせ下さい。

利用にあたっては、個人によって多種多様な要望や願いもありますので、このようなことになるべくお応え出来るようにと十分なお話しを心がけております。

3.11 さんてんいちいち

東日本大震災2年目、仏様の世界では3回忌にあたります。今回は住職と小僧(しょうそう)の二人で、震災でお亡くなりの方へ御回向を捧げ、また被災地の復興と原発事故収束を祈りました。特に原発、核のゴミ問題は「トイレのないマンション」状態で良いとは思えません。



NPO 法人
颯埜扉バザー
3月20日(水)
10時～3時半
宝泉寺境内

「颯埜扉(しのひ)」は精神疾患をかかえながら、社会復帰を目指す方々を多面からサポートするNPO法人です。その活動の一つがリサイクルショップの運営、多くの方からよせられた、善意の品々をお持ちしておじゃま致します。どうぞよろしくお願い致します。

編集後記

- ・ 去年の12月から数度にわたって風邪を引いてしまった、はずかしながら医者へ行った回数は人には言えないぐらい、最後は先月半ばのインフルエンザ、これで終わりにしたい。毎年のことだが今は花粉症が目と鼻にきている。
- ・ そんなわけで予定していた冬の仕事がほとんど出来ていない。このところの暖かさで、日本桜草のモエギ色の小さな芽を

確認、時期は遅れてしまったがかり光編集が終わったらすぐに植え替えてやろう。お茶の木の刈り込み、柿の剪定など仕事はめじろおし、春はせき立てられるのでどうも好きになれない。

- ・ 政権が変わって何となく明るさが戻ってきた。政治の主義主張はともかく、国民の多くは将来への見通しが欲しいのだと思う。

Mar.11.2013(琴)